



シャクヤク

2010年5月26日  
(毎週水曜日発行)

株式会社 NSC

佐賀市日の出1丁目16-19

TEL 0952・97・9643

FAX 0952・97・9647

■会員料金■  
(ネット+冊子)

月額 4,200円(税込)

年間契約 46,200円(税込)

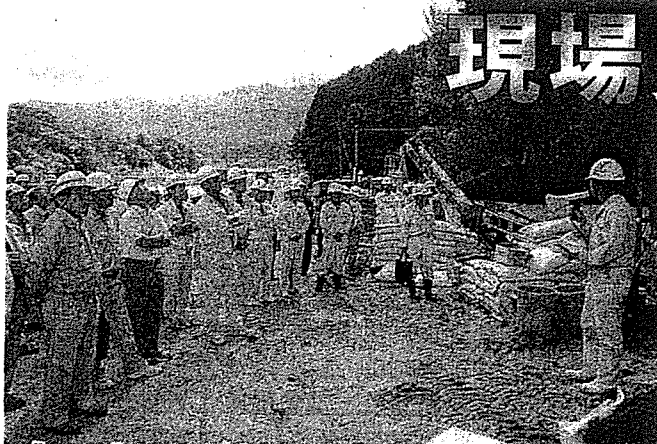
http://www.nsci.co.jp

現場見学会

### FWG・ウッドチップ工法

## 現場見学会を開催

ミラクルソル協会



官公庁、建設会社ら約140人が参加

ミラクルソル協会(原裕理事長)は24日、有田町内で第14回現場見学会を開催した。県佐賀中部農林事務所や武雄市・有田町などの官公庁職員、建設会社の技術者ら約140人が参加し、ミラクルソル工法の一つである「FWG・ウッドチップ工法」を使った施工現場を見学した。

見学会に先立ち、有田町生涯学習センターでミラクルソル工法に関する説明会が行われ、工学博士の肩書きを持つ原理事長が、ガラス廃材を再利用したミラクルソルの特性や用途、ミラクルソルを活用した工法、施工事例などを解説した。ワインビンなどのガラス廃材を約900℃で焼成してつくる多孔質間隙構造のミラクルソルは、強固な軽量材料や新素材として、建設などさまざまな分野で用途を広げている。製造条件により0.3〜1.5の比重と吸水・非吸水が調節可能で、吸水性に優れたものは岩盤斜面や屋上の緑化用の保水材に、非吸水性のものは軽量盛土材や軽量骨材、地盤改良材といった建設材料に使用されている。

これまで環境緑化・環境土木・水環境の分野で20工法を開発。新たな取り組みとして、表面をゼオライト化したミラクルソルを使い生下水からリンを回収する研究も

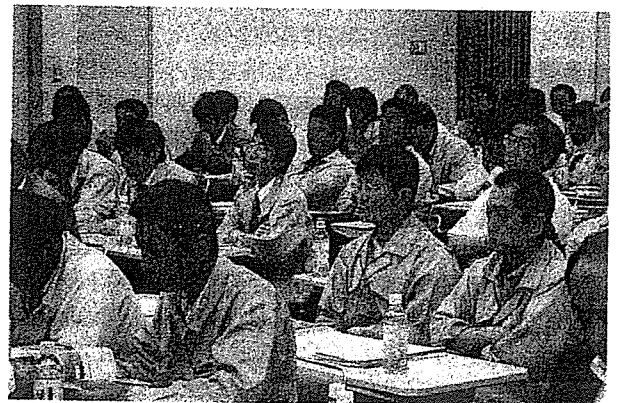
を進めている。原理事長は「ミラクルソル工法はCO2削減など環境に対して貢献できる。環境という大きなキーワードで新しい材料・工法を開発、提案していく」など話し、ミラクルソルが活躍する低炭素建設工法の有用性を強調した。



原裕理事長

## 伐採樹木を生育基盤材に再利用

今回現場見学会を開いたFWG・ウッドチップ工法は、法面工事で伐採した樹木を現地でチップ化し、生育基盤材として再利用するもの。細かく破碎した木材チップに吸水性質のミラクルソルや肥料などを混合することで、植物の早期生育を促進させる。また、伐採樹木の再利用によるコスト削減のほか、現地で廃棄物を発生させないなど環境に配慮した工法となっている。



工法説明を聞く参加者

説明会の後、参加者はFWG・ウッドチップ工法で施工している現場へ移動。有田町発注の町道尾ノ上下迎原線法面整備工事に採用されており、同工法の施工面積は約2500㎡。施工を日本建設技術(株)が行っており、同社建設事業部の田中和久課長が工法の概要や施工手順などを説明した。参加者は、生育基盤材を吹き付ける作業を見学しながら、チップを入れるメリットや初期発芽までの期間などを質問していた。